



# 模擬講義一覽

学 類	専 攻	講義 NO.	時間	会 場		時 間	講義テーマ・概要
				建物	教室		
人間発達文化学類	人間発達専攻	①	11:00 ~ 11:30	L棟	L-4	住吉 チカ	「心理学とは？」 心理学を学ぶと「人のこころがわかる」と考えている人も多いと思います。しかし、実際にはそのような学問ではありません。「人内面での情報処理」を、行動・観察・調査を通して推察してゆくことが、主な研究内容になります。本講義では、「認知心理学」を例として、現代の心理学の内容や研究アプローチについて紹介します。
		②	11:45 ~ 12:15	M棟	M-1	阿内 春生	「教育を「仕組み」から見てみよう：教育委員会制度の転換点」 この春、教育委員会制度が変わったのは知っていますか？そもそも教育委員会ってなんだろう？何がどう変わって、どうなるのでしょうか？教育委員会の制度改革を通じて、教育を動かす「仕組み」を見てみましょう。本講義ではクリッカーを使ってみなさんにも参加してもらいながら授業を進めます。
		③	12:55 ~ 13:25	M棟	M-2	高橋 純一	「『できないこと』より『できること』：知能理論と個性化才能教育からみた発達障害児支援」 発達障害児の特性は未だ理解されにくく、総じて「できること」よりも「できないこと」が目がいかがちです。しかし、発達障害児には多くの「できること」があるのも事実です。今回の模擬講義では、知能の多様性について概観した上で、個性化才能教育の観点から発達障害児支援について論じてみたいと思います。
		④	13:40 ~ 14:10	L棟	L-4	原野 明子	「幼児の発達と心理～愛着理論と保育者の仕事～」 保育者になるために大学では、乳幼児の発達の勉強もします。そこでは、発達の道筋を知るだけではありません。例えば、人が健やかに育つためには世話が必要で、それはなぜなのかということや、これまでの研究をもとに学んだりします。模擬講義ではその一端を紹介します。
		⑤	12:55 ~ 13:25	M棟	M-3	水澤 玲子	「花の解剖」 小学校では、植物のからだは「根・茎・葉」から構成されると学習します。しかし、植物には花も咲けば実もなります。「植物のからだのつくり」に花が含まれないのはなぜでしょうか？この授業では花の解剖を通して、「植物のからだのつくり」について考えます。
	文化探究専攻	⑥	11:00 ~ 11:30	M棟	M-2	澁澤 尚	「漢字の神秘的な世界 ～風と虹のものがたり～」 文明とともに生まれた古代文字の中で、なぜ漢字だけが現在まで使われ続けているのでしょうか。漢字を発明したのは誰なのでしょう。漢字の御先祖「甲骨文字」を示しながら、その神秘的な世界をひもときます。日々の風のそよぎ、虹の輝きにも神々を感じとり、そこから漢字を生み出した古代人の心象に迫りましょう。
		⑦	12:55 ~ 13:25	M棟	M-1	小松 賢司	「江戸時代の城下町 一日記から社会をよむ」 江戸時代の城下町は、地域の政治・経済の中心でした。周辺に住む人びとはよく城下町を訪れ、そこで飲食をし買い物をし、また様々な交渉を行いました。講義では、こうした人びとの行動を、川越（現埼玉）という城下町を例に、日記から具体的に明らかにします。そして当時の社会の特質や、現代との共通性・異質性などを考えます。
		⑧	13:40 ~ 14:10	M棟	M-1	濱野佐知子	「複素数の導入」 円周率、自然対数の底、そして2乗すると-1になるという虚数単位。これらの数に関係性があると想像し難いです。しかし、その昔、18世紀にオイラーによって1つの神秘的な等式で表されました。その等式の魅力を紹介したいと思います。
		⑨	14:25 ~ 14:55	M棟	M-2	中村 恵子	「米から飯へ」 日本人の主食はご飯です。私たちは米を炊いて飯にしますが、「炊飯」のコツには科学的な理由が存在します。また、ご飯を炊く羽釜の工夫や食べる道具の箸には、特徴的な食文化の歴史があります。「米から飯へ」をキーワードに、調理科学と食文化にちょっと触れてみませんか？
	スポーツ・芸術創造専攻	⑩	11:00 ~ 11:30	M棟	M-1	杉浦 弘一	「暑熱環境下での運動時の対策について」 夏場の競技会や練習時において、暑さ対策は重要なキーワードになっています。熱中症の予防はもちろん、パフォーマンス維持においても重要です。本模擬授業では、熱中症について概説するとともに、暑熱環境下での運動時に重要な水分補給の方法等にふれ、暑さによるパフォーマンス低下の予防について概説します。
		⑪	11:45 ~ 12:15	L棟	L-4	白石 豊	「トップアスリートに教えているメンタルウォームアップ」 私は30年以上にわたって日本のトップアスリートたちにメンタルトレーニングを指導してきました。その一つに「リラクセス」「集中」「イメージリハーサル」からなるメンタルウォームアップというトレーニングがあります。今回はそれをみなさんにご紹介し、体験していただきます。
		⑫	12:55 ~ 13:25	音楽棟	音楽講義室(201)	横島 浩	「メロディーと和音」 メロディーは音が横につながって形作られ、一方で和音は縦に重なって作られます。メロディーと和音は別々にある訳ではありません。伴奏に過ぎないと思われ和音によって、メロディーは様々な表情を見せるのです。この講義で、親しみやすいメロディーがどのように形成されているのかを分析して、そこに付けられる和音の可能性を探ります。
		⑬	14:25 ~ 14:55	M棟	M-1	渡邊 晃一	「ARTとは何か？《モナ・リザ》にみる美術の解剖学」 2015年、日本テレビの「ルーブル美術館 特別番組」のなかで私は、《モナ・リザ》を監修しました。本講義ではその時の《モナ・リザ》に隠された視覚像の秘密を軸に、ART(アート、美術、芸術)とは何か、今日の絵画や映像メディア表現(写真、映画、マンガ、アニメーション)と絡ませながら探っていききたいと思います。

学 類	専 攻	講義 NO.	時間	会 場		時 間	講義テーマ・概要
				建物	教室		
行政政策学類	法学専攻	①	10:15 ~ 10:45	M棟	M-22	高橋 有紀	「『団地の階段』を上ったら『犯罪者』？」 法学とは、『六法全書』を丸暗記して模擬裁判で華々しく戦う学問ではなく、様々な法律に何がなぜ書かれているのかを広く深く考える学問です。本講義では、「団地の階段」が刑法の「住居侵入罪」の想定する「住居」に当たるのかをテーマに、そんな法学の学びの一端を味わっていただきます。
	地域と行政専攻	②	10:15 ~ 10:45	M棟	M-21	黒崎 輝	「集団的自衛権とは何か？」 日本の安全保障に関する法制度の整備が進められる中で、集団的自衛権の行使が大きな争点となりました。その背景には何があるのでしょうか。そもそも集団的自衛権とは何でしょうか。集団的自衛権の行使は、日本の平和と安全にとって望ましいのでしょうか。こうした問題について、国際政治学の視点から考えます。
	社会と文化専攻	③	13:40 ~ 14:10	M棟	M-21	橋本 摂子	「調査データから社会を読む：性別役割意識の変容」 「男性は外で働き、女性は家で家事育児をおこなう」——このような伝統的な家庭内分業に対する賛否を性別役割意識と呼びます。日本では1975年から調査されていますが、近年この意識にゆるやかな変化があらわれています。意識の変容が若者のライフコース選択とどのように結びつくのか、データから社会を読み解きます。
経済経営学類	国際地域経済専攻	①	11:00 ~ 11:30	L棟	L-2	菊池 智裕	「『甘くない』世界 ——糖分を巡る西洋経済史——」 経済現象の歴史的理解は、現在(時に未来)の分析に繋がります。公開講座では、糖分(ショ糖、砂糖、合成甘味料)の獲得・製造・販売を巡る西洋経済史のエピソードを取り上げつつ、現在進行中の砂糖税論争へと繋がります。また、ヨーロッパ研修の紹介を通して、大学で経済を「調べ、考え、体験する」様子を覗いてもらいます。
	経済分析専攻	②	9:50 ~ 10:15	M棟	M-4	荒 知宏	「世界貿易と国際経済学」 この公開講座では、最初に日本やアメリカ、中国といった主要国の貿易に関するデータを紹介して、世界貿易の現状について説明します。その上で、データから見出される疑問を提示し、その解決のために国際経済学を学ぶ必要があることを示します。
	企業経営専攻	③	13:40 ~ 14:10	L棟	L-2	根建 晶寛	「今後の人生を通じた大学生活における勉強との付き合い方—経営・経済学を事例として—」 オープンキャンパスでは、大学でどのような講義が行われるか、経営学・経済学を中心に、大学講義の導入レベルを解説します。高校生が楽しめる内容を部分的に取り入れつつ、今後の人生をととのした勉強との付き合い方にも目を向けて説明していけたらと思います。
共生システム理工学類	人間支援システム専攻	①	11:45 ~ 12:15	M棟	M-3	内海 哲史	「インターネットにおけるパケット渋滞の制御について」 インターネットは、パケット交換方式のネットワークです。インターネットにパケットが流入し過ぎると、パケットの渋滞が発生します。そのためには、パケットの入力量を制御しながら、パケットの渋滞を回避する必要があります。本講義では、インターネットにおけるパケット渋滞の制御方法について、説明します。
		②	11:00 ~ 11:30	L棟	L-3	高橋 隆行	「ロボットを開発するということ」 ロボットは様々な技術の集合体です。したがって、ロボットを開発するためには、たくさんのアイデアを出してそれの一つずつ検証し、最も効果の高い組み合わせを見つけることが重要になります。この講義では、猪苗代湖で湖底泥を採取するための水中ロボットの開発の実例を通して、ロボット開発の実際のプロセスを講義します。
	産業システム工学専攻	③	11:00 ~ 11:30	M棟	M-3	杉森 大助	「ムムム！福島大でもバイオテクノロジーが学べるんです！」 我々の生活を支えるバイオ、身の回りにはバイオをご紹介します。胃腸に入っている酵素って本当に効くの？バイオエタノールって本当に燃料になるの？バイオでプラスチックが作れるの？などなど身近な疑問に答えます！最後に、生物工学研究室で行っている微生物と酵素の産業利用を目指した基礎研究について解説します。
環境システムマネジメント専攻	環境システムマネジメント専攻	④	12:30 ~ 12:55	L棟	L-3	石川 友保	「物流計画に関する数理的アプローチ」 物流は私たちの生活に深く関わっています。例えば、スーパーの棚に食品や日用品が並び、Amazonから自宅に本が届くのも物流活動が行われているからです。物流を円滑にするためには計画が必要であり、計画立案を支援するために数理的アプローチがあります。本講義では、物流の概念や数理的アプローチの事例を解説します。
		⑤	12:30 ~ 12:55	M棟	M-3	後藤 忍	「日本と外国の事例から考える原子力・放射線教育」 原子力・放射線についての日本と外国の教材では、どのような共通点や相違点があるのでしょうか。福島第一原発の事故について、教育面での教訓は何でしょうか。主なキーワードは、判断力、批判力、公平性です。この講義では、日本と外国のいくつかの教材や事例を紹介しながら、みなさんと一緒に考えてみたいと思います。
	⑥	11:45 ~ 12:15	L棟	L-3	兼子 伸吾	「その芽生えの親はどこ？—DNA鑑定のはくみ—」 刑事ドラマ等でおなじみのDNA鑑定は、野生生物の研究にも盛んに利用されています。近年では、芽生えのDNAを調べることでより両親を特定し、花粉や種子がどれくらいの距離を移動するのか、といったことも調べられるようになってきました。今回の授業では、樹木の親子鑑定を題材に、DNA鑑定のはくみについて実習します。	